

第3次福井県子どもの読書活動推進計画の骨子(案)

1 子どもの読書活動の現状

(H22.3「元気ふくいっ子読書活動推進計画」)

○小中学生

平日の読書時間が全くない児童生徒の割合

小学6 H22 22.2% → H31 15.5%

中学3 H22 41.0% → H31 32.1%

「全国学力・学習状況調査」より

・第2次推進計画策定当初に比べて減少

・H27年度以降は、全国平均を下回っている。

○高校生

1か月に1冊も本を読まない生徒の割合

H25 45.0% → H31 43.8%

福井県：「高校生学習状況調査」H25～

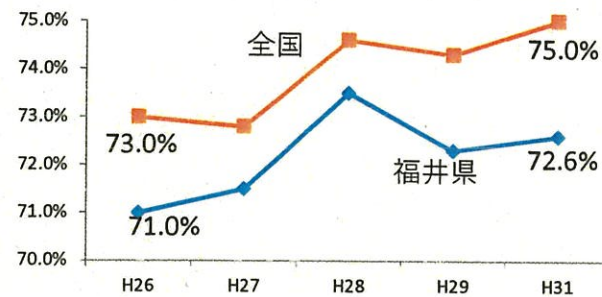
・全国平均を下回っているが、横ばい傾向。

【課題①】

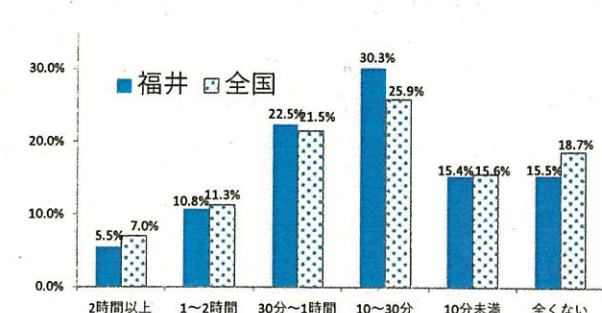
小中学生の読書状況は改善傾向にあるものの、高校生の状況に変化が少ないのは、**中学生までの読書習慣の形成が不十分**であると考えられる。

○福井県の特徴

「読書が好き」な児童(小学6年)の割合



平日の読書時間ごとの児童(小学6年)の割合(H31)



【課題②】

「全国学力・学習状況調査」より

自主的に読書を楽しんでいる児童が全国と比べて少ない傾向が見受けられる。

2 第3次推進計画

(H30.4「第4次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を受けて策定)

○基本目標 子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくり

～「読みたい! 知りたい!」を育み、「読書って楽しいわかるってうれしい」をサポート～

○基本方針

(1) 適切な読書指導ができる人づくり……子どもの発達段階に応じた読書指導を行うことのできる人材の育成

(2) 本との新たな出会いづくり……子どもが自ら読みたくなるような新たな本との出会いをうみだす取組みの推進

(3) 子どもの読書に関わる情報の提供・共有……子どもの読書活動に関わるさまざまな情報を幅広い大人に提供

3 第3次推進計画の主な取組み

◆…新規事業 ◇…継続事業

(1) 家庭における読書活動推進

○出会いづくり

◆出産を控えた夫婦(プレパパプレママ)を対象に、産科のある病院と連携して、絵本講座を開催

◆子ども読書の日(4/23)、こどもの読書週間(4/23～5/12)に、絵本の楽しさを親子で体験する企画を開催

◇県内全市町でブックスタート事業実施

○情報提供・共有

◆子どもの発達段階別推奨図書の小冊子を図書館、書店等で配布

◆図書館、書店等で子どもの発達段階別推奨図書のコーナーを設置

(2) 地域における読書活動推進

①図書館

○人づくり

◇子ども読書ボランティアを対象に、読み聞かせ相談会や講座を開催

◇県立図書館では、県内公立図書館職員の資質向上を図るため、各種研修を開催

○出会いづくり

◆小中学生を対象に、図書館の仕事体験や活用方法などを学びジュニア司書を認定する養成講座を開催

◆高校生の探究的な学習での活用のため、県立図書館の郷土資料のデジタル化を推進

◇県内公立図書館では、読み聞かせ会等の子どもの発達段階に応じた企画を開催

◇県内公立図書館では、学校等への団体貸出や、読み聞かせやブックトークなどを行う学校訪問を実施

○情報提供・共有

◆子どもの発達段階別推奨図書を活用したコーナーの設置や企画の開催

◇県立図書館で「読み聞かせボランティアのためのおすすめ絵本」を年4回発行

②児童館等

○人づくり

◆県児童館連絡協議会と連携した児童館職員への児童書等についての研修会を開催

○出会いづくり

◆子ども読書ボランティアの活用による読み聞かせ活動等の推進

○情報提供・共有

◆児童館の図書整備に子どもの発達段階別推奨図書を活用

(3) 学校等における読書活動推進

①幼稚園等

○人づくり

◆県幼児教育支援センターと連携し、幼稚園教諭等を対象に絵本の選び方等を学ぶ研修会開催

○情報提供・共有

◆子どもの発達段階別推奨図書を活用した幼稚園等での絵本整備

②小学校・中学校・高等学校

○人づくり

◆学校図書館の運営を担う人材を育成するため、学校司書や子ども読書ボランティアを対象に、学校図書館活用講座を開催

○出会いづくり

◆児童生徒が読書を楽しむ企画を提案し、各学校における取組みを支援(ビブリオバトルやペア読書、読書会等)

◆高校生の探究的な学習での活用のため、県立図書館の郷土資料のデジタル化を推進(再掲)

◇選定図書学校巡回事業

◇学校図書館を活用した授業や一斉読書、家庭読書などを推進

○情報提供・共有

◆子どもの発達段階別推奨図書を活用した学校図書館での図書整備およびコーナー設置等

③特別支援学校

○出会いづくり

◆障害のある子どもたちの読書環境整備のためにマルチメディアデジー図書等の導入を検討

(4) 全ての活動の基礎となる取組み

○出会いづくり

◆市町の子どもの読書活動推進計画の策定および見直しの支援

○情報提供・共有

◆図書館職員、学校関係者や書店員等が、0歳～高校生の8つの発達段階別に、名作や科学、芸術等の幅広いジャンルの推奨図書を選定

◆子ども読書ボランティアのデータベース化